

コストの「見える化」から「業務改善」へ

原価管理の基礎知識

開催日：2018年6月7日(木) 10:00～16:45

会場：大阪銀行協会 別館3階(11号室)

講師：小路公認会計士事務所 代表 小路 貴志 氏

略歴：

1987年監査法人朝日新和会計社(現 あずさ監査法人)入社。91年公認会計士登録。その後、システムコンサルティング会社へ出向。現在は、自ら設立した監査法人・税理士法人を経て、小路公認会計士事務所にて税務業務、監査業務およびコンサルティング業務を行なっている。監査法人・税理士法人で得たさまざまな「原価計算」「原価管理」の知識や経験と、コンサルティング会社で培ったノウハウを融合させ、数多くの「原価管理システム」の構築を手がけた実績を有している。この経験を活かし、「原価管理」に関するセミナーや企業内研修の講師としても活躍している。

特色

製造業において利益管理・業務管理の要となるのが「原価管理」です。すなわち、「原価計算」の目的は、正確なコストを把握し、原価および利益の「見える化」を図ることにあります。一方、「原価管理」はさらに一步踏み込み、把握されたコストから無駄や非効率な部分を見つけ出し、「業務改善」につなげることが重要なポイントです。

本セミナーでは、「原価計算」の基本的な考え方から「原価管理」をベースとする新しい管理会計の手法まで解説いたします。そして、具体的な「業務改善手法」についても実例・演習も交えながら分かりやすく解説いたします。さらに、「原価管理システム」導入時の留意ポイントや製造業以外の業種における「原価管理手法」まで幅広く解説いたします。

カリキュラム

1. 原価管理の基礎知識

- (1)原価計算の目的と意義
- (2)原価計算と原価管理の違いとは
- (3)原価分類を理解する
～材料費・労務費・経費、直接費・間接費～

2. さまざまな原価計算の仕組みを理解する【実務演習】

- (1)原価計算の流れを理解する
～費目別計算から製品別計算まで～
- (2)個別原価計算と総合原価計算を理解する
- (3)実際原価計算と予定原価計算を理解する
- (4)標準原価計算と直接原価計算を理解する

3. 管理会計のための原価計算とは

- (1)管理会計のための部門別・セグメント別原価計算とは
- (2)固定費・変動費区分の実務ポイント
- (3)間接費・共通費の配賦方法と配賦基準の設定の実務ポイント
- (4)標準原価設定と原価差異分析の実務ポイント

4. 新しい原価管理手法を知る

- (1)活動基準原価計算(ABC)とは
- (2)スループット会計とは
～TOC理論を理解する～
- (3)原価計算・原価管理システムの導入時の留意ポイント

5. 原価管理に基づく業務改善手法を学ぶ【事例紹介】

- (1)大量生産型製造業における業務改善事例
- (2)受注生産型製造業における業務改善事例
- (3)物流業における業務改善事例
- (4)サービス業における原価管理活用事例

6. 経営戦略の策定と遂行のための原価管理

- (1)短期利益計画におけるCVP分析
- (2)経営意思決定のための会計
～設備投資の意思決定～
- (3)戦略的コストマネジメントを極める

必ず電卓をお持ちください

参加申込書

(*個人情報の取り扱いに関して、私は貴社の「個人情報に関する利用目的」を確認、同意の上、申込みます。)

受講料：会員...23,760円 一般...31,320円

(参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む)

6/7(木) 原価管理の基礎知識

【FAX .06-6271-1286 りそな総合研究所 行】

貴社名				区分	MS・会員・一般	会員番号		
受講票送付先	〒	連絡担当者	部署・役職					
			ふりがな					
業種(具体的に記入してください)					氏名			
	E-Mail							
TEL	()	FAX	()	取引店	支店			
参加者 ()内にふりがなをご記入ください。	氏名 ()		部署		役職			
	氏名 ()		部署		役職			
	氏名 ()		部署		役職			
当社使用欄	替 / 振 (会・個)	入力日 /	発送日 /	受講料 円	作成日 /	発送日 /	同・別	

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。[お問い合わせ先] 一般の方：受講票とともに請求書をお送りいたします(原則)。セミナー開催前日までにお振込みください。 06-6203-9472

*キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、参加申込みが少数の場合や講師の病気等により、開催を中止させていただく場合があります。 研修担当 ㊦